学校番号	T1206

令和８年度　　工業科

教科	工業	科目	自動車整備１	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「自動車整備」　（実教出版）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車整備とは現代の車社会に生きる我々にとって身近なものであり、エンジン整備や電装系整備、駆動・制動系整備や車体整備などの自動車整備は自動車の安全運行など、移動手段の道具としての自動車の維持管理において重要な意味合いを持っている。
教室での座学を中心に行うが、実際に自動車工場において教科書に基づく車体の整備実習を行うこともあるので教科担当の指示をよく聞いて授業に参加すること。
本講座は４年次に学習する自動車整備２をセットで学習することを前提としている。
評価は学習態度、提出物、定期考査などで総合的に評価する。

２ 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、自動車の性能の維持、快適で安全な走行及び環境汚染の防止に必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)自動車について法規と整備の目的を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につける。
(2)自動車の整備に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身につける。
(3)自動車の整備を行う力の向上をめざして自ら学び、自動車産業の発展に主体的かつ協働的

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車整備を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識および観察・実習の技能を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。	自動車整備を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識・技術に課題等を見つけ出し、自ら思考・判断し、創意工夫して課題解決する能力が身についている。	自動車整備を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、学びに向かう力が身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自動車の整備と関係法規	整備の目的と内容 道路運送車両法 自動車整備事業 自動車整備士制度 道路運送車両の保安基準	a:自動車の整備と関係法規に関する基本的な知識を身につけ、現代社会における自動車整備と関係法規の意義や役割を理解し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 b:自動車の整備と関係法規について課題を見つけ、自ら思考・判断し、創意工夫して課題解決する能力が身についている。 c:自動車の整備に関係する道路運送車両法、道路運送車両法の保安基準および自動車点検基準などに関する知識に関心を持ち、意欲的に探究するとともに学びに向かう力が身についている。	授業・問題 プリント 定期考査 観察等	授業・問題 プリント 定期考査 観察等	授業態度等 振り返り シート 観察等
	自動車用材料と加工	自動車用材料 材料の機械的性質 鋳造 塑性加工 溶接 機械加工 表面処理 その他の加工と材料 自動車用材料のリサイクル	a:自動車用材料のリサイクル、自動車用材料の加工、自動車整備にともなう各種工作法と機器の取り扱いなどに関する基本的な知識に身につけ、安全に配慮し実際に活用できる能力と態度が身についている。 b:自動車用材料のリサイクル、自動車用材料の加工、自動車整備にともなう各種工作法と機器の取り扱いなどについて課題を見つけ、自ら思考・判断し、創意工夫して課題解決する能力が身についている。 c:自動車用材料のリサイクル、自動車用材料の加工、自動車整備にともなう各種工作法と機器の取り扱いなどに関心を持ち、意欲的に探究するとともに学びに向かう力が身についている。	授業・問題 プリント 定期考査 観察等	授業・問題 プリント 定期考査 観察等	授業態度等 振り返り シート 観察等

後期	エンジンの整備	エンジンの点検 エンジンの分解 エンジン本体各部の点検・整備 イグナイタの整備 燃料装置の整備 潤滑装置の整備 冷却装置の整備 吸・排気装置の整備 エンジンの組立と調整 ディーゼルエンジンの整備 ハイブリッド車の取り扱い エンジンの性能試験	a:エンジンの整備に関する基本的な知識を身につけ、その動作原理・特徴を理解し、実習などで観察し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 b:自動車整備をするうえで、自動車が自由に安定した走行をするためにエンジンの構造・作動・特徴について、自ら思考を深める能力が身についている。 c:自動車整備をするうえで、自動車が自由に安定した走行をするために必要なエンジンの構造・作動・特徴について関心を持ち、意欲的に探究するとともに学びに向かう力が身についている。	授業・問題 プリント 定期考査 観察等	授業・問題 プリント 定期考査 観察等	授業態度等 振り返り シート 観察等
	ブレーキ装置	クラッチの整備 トランスミッションの整備 プロペラシャフトとユニバーサルジョイントの整備 ファイナルギヤ装置とドライブシャフトの整備	a:ブレーキ装置の整備に関する基本的な知識を身につけ、その動作原理・特徴を理解し、実習などで観察し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 b:自動車整備をするうえで、自動車が自由に安定した走行をするために必要なブレーキ装置の構造・作動・特徴について、自ら思考を深める能力が身についている。 c:自動車整備をするうえで、自動車が自由に安定した走行をするために必要なブレーキ装置の構造・作動・特徴について関心を持ち、意欲的に探究するとともに学びに向かう力が身についている。	授業・問題 プリント 定期考査 観察等	授業・問題 プリント 定期考査 観察等	授業態度等 振り返り シート 観察等

※ 表中の観点について　a：知識・技能　　b：思考・判断・表現
c：主体的に学習に取り組む態度